

第99回歴史探訪の会「忍者と芭蕉のまち伊賀上野を語り部と歩こう」のご案内

世話人代表 内海春樹

伊賀上野は忍者の拠点として有名ですが、江戸時代に築城の名手とうたわれた藤堂高虎がこの地を治めたときに城郭を拡張し、町割りを整備して、歴史街道が交わる交通の要所として栄えた城下町です。

江戸時代前期に活躍し、のちに「俳聖」と称えられる「松尾芭蕉」は伊賀の人です。寛永 21 (1644) 年に松尾与左衛門の二男として生まれ、29 歳で江戸に向かうまでこの地で暮らしました。今回は「いがうえの語り部の会」のガイドさんと一緒に芭蕉翁生家や、松尾家の菩提寺で芭蕉翁の遺髪が納められた愛染院(故郷塚)、芭蕉五庵でただひとつ現存する蓑虫庵を訪ねます。また、上野公園の伊賀上野城や、芭蕉翁を顕彰して建てられた俳聖殿、芭蕉記念館を見学して芭蕉翁の足跡をたどりながら俳句に親しみます。

今例会では、俳句同好会、川柳同好会の代表お二人も参加頂きます。歴史探訪の会の皆さまにも俳句や川柳に親しんでいただく絶好の機会ですので、芭蕉翁の跡を訪ねる行程の道々で俳句・川柳を詠んでいただくことにします。優秀作品には賞品を準備しますので奮っていい句を作ってください。多数のご参加をお待ちします。

記

・実施日： 令和 7 年 5 月 21 日(水) 午前 10 時 35 分集合

・集合場所： 伊賀鉄道伊賀線 上野市駅改札口を出たところ

参考：①近鉄線 大阪上本町 8:14 発(快速急行・青山町行き)～伊賀神戸 9:37 着、

同 9:44 発(伊賀鉄道伊賀線・伊賀上野行き)～上野市 10:12 着

②JR 線 天王寺 8:43 発(大和路線快速・加茂行き)～加茂 9:34 着、

同 9:40 発(関西本線・亀山行き)～伊賀上野 10:16 着、同 10:24 発(伊賀鉄道伊賀線・伊賀神戸行き)～上野市 10:32 着

注意：伊賀上野駅で JR 線から伊賀鉄道線に乗り換えるときには、改札を出ないで「1 番ホーム」から乗車します。ICOCA などの IC カード乗車券をお使いの方は、JR 線の列車を降りる時に、車内運転席うしろの出札機械にタッチして下さい。そして 1 番ホームの伊賀鉄道の入札機械にもタッチしてから電車に乗って下さい(帰りは後述)。

尚、伊賀鉄道は Pitapa のポストペイ(後払い)の適用除外区間ですので、事前にチャージをして頂くか、Pitapa を使用せずに現金で支払い下さい。

・コース： 上野市駅～上野天満宮～芭蕉翁生家(入館)～愛染院(故郷塚)～
寺町通り経由 蓑虫庵(入館 休憩・昼食)～伊賀上野城 俳聖殿～
芭蕉翁記念館(入館)～上野市駅 ＝解散(14 時 40 分の予定)
歩く距離は約 6km

雨天中止です。前日の読売テレビ「ニュース ten」の天気予報(午後 5 時 40 分頃と 6 時 40 分頃の 2 回ある“蓬莱さんの天気予報”)で三重県・津の午前、または午後の降水確率が50%以上の場合は中止です。

参加費： 1,000 円 (芭蕉翁生家、蓑虫庵、芭蕉記念館の入館料とガイド料)
持ち物： 弁当、飲み物、敷物、名札(お持ちの方)、マイナンバーカードもしくは
健康保険証、雨具、他 各自必要なもの
案内人： 林 寛(5648)さん

ご参考までに、

・帰りの電車時刻

- ① **近鉄線** 上野市 15:04 発(伊賀鉄道伊賀線・伊賀神戸行き)～伊賀神戸 15:30 着、
同 15:32 発(大阪線特急・大阪難波行き)～大阪難波 16:33 着、
又は 同 15:45 発(普通・名張行)～名張 15:54 着、
同 16:01 発(急行・大阪上本町行)～大阪上本町 17:14 着
- ② **JR 線** 上野市 14:48 発(伊賀鉄道伊賀線・伊賀上野行き)～伊賀上野 14:55 着、
同 15:00 発(関西本線・加茂行き)～加茂 15:35 着、同 15:41 発
(大和路快速・天王寺行き)～天王寺 16:34 着

注意： 伊賀上野駅で伊賀鉄道線から JR 線への乗り換えは、改札を出ないで降りたホーム「1 番ホーム」から乗車します。ICOCA などの IC カード乗車券をお使いの方は、伊賀鉄道の電車を降りた後、1 番ホームの伊賀鉄道線出札機械にタッチしてください。1 番ホームに JR 線加茂行き列車が着いたら、列車内乗車口の入札機械にタッチしてご乗車ください。

以上

次のページに俳句同好会の和住さん、川柳同好会の喜田さんよりのメッセージがあります。

歴史探訪の会の皆様へ



いつもユニークな企画で会の盛況何よりです

扱て、5月の例会は 伊賀上野城 近辺の散策だそうで 俳聖 松尾芭蕉 の生誕の地で、その関連から 俳句同好会・川柳同好会 五七五 の同好にお誘いがあります。喜んで参加させていただきます。

折角の機会ですので 皆様にも 一句 五七五 詠んで頂き 即席句会と致したく存じます。

俳句は 季語等制約がありますが 今回は一切こだわらず 川柳の手法で作成願えれば結構です。題材は お任せの フリー と致しますが、折角の散策ですので、上野城城、芭蕉、忍者、伊賀牛(関連のすき焼き、ステーキ) 等で 考えて下さい。

もちろん 題材とは関係無しの 日常生活からの句でも構いません。

事前 又は 当日の「句想」をメモしておいてください。

当日提出用紙(句箋) 配布致しますので 転記の上、提出お願い致します。提出は何句でも構いません。提出用紙(句箋) には句のみ記入 作者名の記入は必要有りません



<

2025.4.21

俳句同好会

和住 明次

当メール発信者

川柳同好会

喜田 征治